

仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書 (mini-WS用)

提出年月日： 2011/9/6

提出先： sympo-kyoyo@tribf.riken.jp

1) 開催予定日・場所

日程： 2011年10月7日 (yyyy/mm/dd) ~ 2011年10月7日 (yyyy/mm/dd) (開催日数 1 日間)
 場所： 仁科ホール

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会 (npsoc@tribf.riken.jp) に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2) タイトル

英文 (※必須)	Future Direction of Triplet Polarization Studies
和文	三重項偏極研究の将来動向

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3) 目的 (400字以内・書式自由)

光励起三重項状態を用いた陽子偏極法は、100ケルビンから常温に至る高温・0.3テスラ以下の低磁場で陽子の偏極生成を可能とする画期的手法である。この手法を応用した偏極陽子標的はRIBFでのスピン非対称測定において中心的役割を担う。一方、この陽子偏極手法は、(有機)化学・NMR・ESR・レーザー等様々な分野における技術を集約したものである。

本ワークショップでは、RIBFの実験グループ(RNC、CNS、九大、東北大CYRIC)とNMR(阪大基礎工)、化学・ESR(埼玉大理)など各分野における三重項偏極の専門家が一同に会し、情報交換をするとともに今後の研究展開について議論を行う。研究協力体制を構築することも本ワークショップの目的である。

4) 世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人 1	涌井崇志	東北大学CYRIC		wakui@cyric.tohoku.ac.jp
世話人 2	北川勝浩	大阪大学基礎工学部		kitagawa.m@ee.es.osaka-u.ac.jp
世話人 3	坂口聡志	九州大学理学部		sakaguchi@phys.kyushu-u.ac.jp
RIBF内世話人	上坂友洋	理研仁科センター	内線4321	uesaka@riken.jp

※ 理研RIBF内に世話人がいない場合は事務局へご連絡ください。

5) 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
北川勝浩	大阪大学基礎工					¥ -
香川晃徳	大阪大学基礎工					¥ -
根来誠	大阪大学基礎工					¥ -
立石健一郎	大阪大学基礎工		¥ 30,000	¥ 2,500	1	¥ 2,500
涌井崇志	東北大学CYRIC		¥ 21,000	¥ 2,500	1	¥ 2,500
坂口聡志	九州大学理学部		¥ 40,000	¥ 1,600	1	¥ 1,600
飯沼昌隆	広島大学先端物質科学		¥ 38,000	¥ 2,500	1	¥ 2,500
矢後友暁	埼玉大学理学部					¥ -
Leung Tsz Tang	東大CNS					¥ -
吉見彰宏	理研仁科センター					¥ -
河原朋美	理研仁科センター/東邦大					¥ -
上坂友洋	理研仁科センター					¥ -
合計			¥			138,100

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。

- 【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
 - 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
 - サポートは実費です。
 - 宿泊費は6,720円/泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	¥	138,100
----------------	----------	----------------

※ 上限：150,000円